

● 園舎建て替えと全園芝生化 ささらなる子育て環境の充実へ



三郷東部認定こども園完成イメージ

充実した施設で保育ニーズに対応

三郷東部認定こども園建設工事の起工式が3月13日、新園舎建設予定地で行われました。当日は区長や民生児童委員、施工者など約50人が出席。太田市長は「地域に根差し、将来を担う子どもたちを安心して育てていくことができるこども園となることを期待している」とあいさつし、令和7年8月の開園に向けて無事工事が進むようお願いしました。

同園は建設から46年が経過。建て替

えの検討を重ねた結果、移転新築することとなりました。

新園舎は鉄骨造平屋建て、延べ床面積は約1725平方メートルで、定員は170人。内装には市産材のアカマツを使い木の温もりにも包まれる空間とし、園庭も芝生化することで安全性の向上を目指します。また、現園舎にはなかった延長保育室、相談室を設け、多様化する教育・保育ニーズに対応できるように施設の充実を図ります。

開園後に現園舎の解体工事に着手し、全ての事業を令和8年3月に完了する予定です。総事業費は約16億3000万円、主な財源に旧合併特例事業債と施設整備事業債を活用します。

8月には園庭が緑のじゅうたんに

市では全ての市立認定こども園と幼稚園の園庭の芝生化を進めています。三郷西部認定こども園で芝の種まき会が3月18日に行われ、年少から年長の園児と市長、教育長が園庭に芝の種をまきました。他の園に先行してまいたのは寒冷地型の芝「ケンタッキーブルグラス」の種で、年間を通じて緑色の芝が生えます。太田市長は園児たちに向けて「芝生で遊べるように種まき

しましょう」とあいさつ。園児たちは種の入ったペットボトルを勢いよく振って、「裸足で青々とした芝が生えたら鬼ごっこをして遊ぶのが楽しみ」などと話しながら園庭中に種を振りまきました。芝は2週間ほどで芽が出始め、8月頃には園庭で遊べるようになる予定です。

今後は、大型連休の前後で三郷北部・三郷南部認定こども園、来春に現在工事中の三郷東部認定こども園で種をまく予定で、令和10年度までに全園の芝生化を目指しています。



園庭に種をまく園児

● 職員人事異動（令和6年4月1日付部長・課長級以上）

部長級

▼総務部長（政策部長）渡辺守▼政策部長（危機管理監）児林信治▼市民生活部長（保健医療部長）吉田美千代▼都市建設部長（同部参事兼建設整備課長）横山佳久

部長級昇格

▼危機管理監（農業委員会事務局長）宮沢英昭▼総務部参事兼財産管理課長（同部同課長）井口寿彦▼政策部参事兼行革デジタル推進課長（総務部総務課長）丸山修一▼保健医療部長（同部健康推進課長）渡邊恵▼農林部長（同部耕地

課長級

林務課長）佐藤明利▼商工観光スポーツ部長（政策部政策経営課長）黒岩一也▼商工観光スポーツ部参事兼商工労働課長（同部同課長）山崎岳志▼教育部長（政策部秘書広報課長）洞武志

▼総務部総務課長（会計管理者兼会計課長）山田留美▼総務部職員課副参事（市民生活部環境課長）高橋秀行▼政策部政策経営課長（商工観光スポーツ部スポーツ推進課長）大月敦史▼福祉部福祉課長（教育部学校教育課長）藤澤一渡▼都市建設部建設整備課長（同部維持管理課長）佐々木智弘▼上下水道部

※（ ）内は前職

課長級昇格

経営管理課長（政策部行革デジタル推進課長）藤森智▼会計管理者兼会計課長（監査委員事務局局長）併）選挙管理委員会事務局書記長）奥村実▼教育部学校教育課長（福祉部福祉課長）上條貴芳▼監査委員事務局局長（併）選挙管理委員会事務局書記長（上下水道部経営管理課長）竹内章▼農業委員会事務局局長（農林部農政課長）北條敦▼危機管理課長（長野県警察本部から派遣）平尾俊之▼市民生活部ゼロカーボン推進課長（長野県から派遣）龍野真一

▼総務部税務課長（同部同課長補佐兼

ANCアリーナ スケートボードひろば リニューアル!



新しいひろばを楽しむ愛好家

ANCアリーナ西側のスケートボードひろばが4月6日にリニューアルオープンし、前日に愛好家による試走が行われました。新たに設置されたのはバンク、ボウル、R2400 セクション、複合セクションなどで試走した3人が感触を確かめました。今回のリニューアルは、東京五輪などでスケートボード人気が高まり、市内でもニーズが高まったことから検討を開始。愛好家の皆さんの意見を聞きながら障害物の位置や配置を設計に反映させました。

試走を行ったベン・ギブソンさん(48)は「素敵なパークができてうれしい。初心者から上級者まで楽しめそうなので多くの人にきてもらい安曇野が盛り上がれば」と期待を込めました。

ひろばは、4月～9月は午前9時から午後7時、10月～3月は午前9時から日没まで無料で利用できます。

組織の一部が変わりました

4月1日から市役所の組織を一部変更しました。

■ゼロカーボン推進課を新設

これまで環境課が所管していた地球温暖化対策等の業務を行います。

■安曇野市子ども家庭センターを設置

児童相談と母子相談の一体的な運用を行うため、子ども家庭支援課内に設置しました。

新産業団地開発へ連携 株式会社ヤマウラ・株式会社d-ネクストと協定締結

市と株式会社ヤマウラ（駒ヶ根市）、株式会社d-ネクスト（長野市）は3月11日、穂高北穂高に新たな産業団地を造成するための官民連携協定を締結しました。

開発候補地は青木花見産業団地と島新田工業団地の周辺に広がる農地15%。協定に沿って今後、市が地域未来投資促進法に基づく国への手続き等を進め、両社が造成などを行います。本年度は基礎調査や測量などを行う予定で、令和8・9年度の産業団地分譲を目指します。

調印式で太田市長は「両社との協定を機に、官民連携

の開発で、市のさらなる発展につなげていきたい」とあいさつ。開発グループを代表してあいさつした山浦社長は「地域経済の発展に貢献しながら、安曇野ならではの風景を育む産業拠点の創造を行っていきたい」と決意を述べました。



協定書を掲げる太田市長と山浦社長（中央） 廣田社長（右）